

「東日本大震災」被災地復興支援 JOC ジュニアオリンピックカップ 第 25 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2012 大会概要

1. 大会名称 「東日本大震災」被災地復興支援
JOC ジュニアオリンピックカップ
第 25 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2012
2. 目的 (1) 各都道府県間の交流の活性化を図り、併せて中学生の競技力の向上を目指す。(強化)
(2) 各地区・各チームのリーダーの育成を図り、中学校のバスケットボールの一層の普及を目指す。(普及)
(3) この大会を JOC ジュニアオリンピックカップに位置づける。
3. 主催 財団法人日本バスケットボール協会
4. 主管 東京都バスケットボール協会、埼玉県バスケットボール協会、千葉県バスケットボール協会
一般社団法人神奈川県バスケットボール協会、春日部市バスケットボール協会
市川市バスケットボール協会、浦安市バスケットボール協会、湘南地区バスケットボール協会
藤沢市バスケットボール協会、川崎市バスケットボール協会
5. 後援 文部科学省、公財財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本中学校体育連盟
東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、神奈川県教育委員会
春日部市教育委員会、市川市教育委員会、浦安市教育委員会、藤沢市教育委員会、川崎市教育委員会
東京都中学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟、千葉県小中学校体育連盟、神奈川県中学校体育連盟
朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社
6. 協賛 株式会社アシックス、トップツアー株式会社、株式会社モルテン
7. 大会期日 平成 24 年 3 月 28 日(水)・29 日(木)・30 日(金)
8. 大会会場 東京体育館、春日部市総合体育館、市川市塩浜市民体育館、浦安市運動公園総合体育館
藤沢市秩父宮記念体育館、とどろきアリーナ
9. 参加資格 (1) (財) 日本バスケットボール協会にチーム加盟・競技者登録をしていること
(2) 各都道府県代表および開催地代表選抜男女各 1 チーム。開催地代表チームは各都道府県チームと
同じ扱いとする
(3) 都道府県代表チームは、(財) 日本バスケットボール協会に登録された中学校の生徒で、各都道府県の
定める方法により選抜された複数校の 1・2 年生の選手で構成する
(4) 開催地代表の編成は開催都道府県に一任するが、上記 (3) および下記 10 (編成) の規定を準用すること
10. 編成 選抜チームの編成にあたっては、次のことに厳守すること
(1) チームの編成はスタッフ 3 名(コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー) および選手 12 名以内とする。
但し、スタッフのうち最低 1 名は中学校の教員とすること。また「ベンチで指揮を執る者」は、有資格者
(JBA 公認コーチ) であること
(2) 選手の選抜方法は、各都道府県の定める方法によるが、単に学校の大会成績のみでなく、真に選手の
力量によって選抜すること
(3) 選手の選抜にあたっては、各協会は管下の都道府県全域にあまねく目を向け、最強の都道府県中学生
選抜チームを編成すること
(4) 1 校からの選抜は、最多でも 4 名までとすること
11. 競技方法 大会第 1 日 参加チームを 16 ブロックに分け予選リーグを行う
大会第 2 日 各ブロック 1 位チームによる決勝トーナメント 1・2 回戦
大会第 3 日 決勝トーナメント準決勝戦、決勝戦
12. 競技規則 現行の日本バスケットボール協会競技規則による。
(但し、男子の使用球は、日本バスケットボール協会検定 7 号球とする)
13. 表彰 (1) 優勝チームには、(財) 日本バスケットボール協会より優勝杯を、トップツアー(株) よりトロフィーを授与する。
1~3 位には(財) 日本バスケットボール協会より賞状楯およびメダルを、(株) アシックスよりトロフィーを、
(株) モルテンより記念ボールを、朝日新聞社・日刊スポーツ新聞社より大会記念品を授与する。
(2) (財) 日本バスケットボール協会より優秀選手賞を授与する。また、(株) アシックスより副賞を授与する。
(3) 公財財団法人日本オリンピック委員会より男女 1 名ずつ最優秀選手賞を授与する。